



© NASA

企画展関連講演会

月の石や隕石から 太陽系の謎を探る!

開催日

2012 .8.26 [SUN] 14:00~15:30

講演会終了後、企画展会場（『月の石』展示前）にて講師によるギャラリートークを行います

場所

佐賀県立宇宙科学館 1F ガイダンス室

定員

70名 ※事前申し込みが必要です【先着順】

申込方法：電話・FAX・E-mail のいずれか

料金

無料

※ただし、常設展示観覧料が必要です

内容

月の石や隕石は太陽系の化石。太陽系ができた頃の環境を示す貴重な情報が保存されています。月の石や隕石を調べることは、我々が住む地球や太陽系が形成された謎に迫ることになります。「月の石」や「隕石」研究の権威、三河内先生から「月の石」や「隕石」に秘められた謎の解明についてお話しいたします。

講師 三河内 岳氏（みこうち たかし） 東京大学大学院理学系研究科 准教授（地球惑星科学）

惑星物質科学・鉱物学・隕石学が専門。地球外物質の分析による太陽系の物質進化について研究。太陽系がどのように形成され、そしてどのような過程を経て、現在見られるような姿に物質が進化していったか、特に、火星や月の岩石がいかに地球と異なっているかという点で、火星隕石、月隕石、アポロ月試料などの分析からその手がかりを探っている。宇宙開発委員会から、小惑星探査機「はやぶさ」サンプルの国際研究公募研究者に選定され、小惑星「イトカワ」から回収されたサンプルの分析にも従事する。

